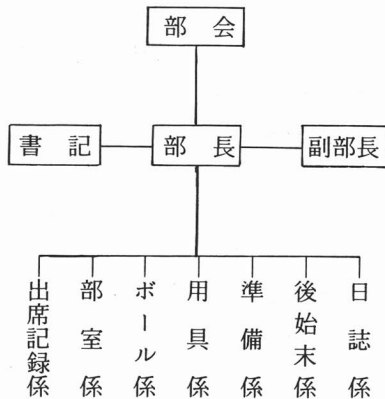


などがあいまいとなり、全員が自主的に協力するという活動がほとんどみられなかった。

そこで、このような問題を解決するため、みんなで話し合い、三役以外にも係を設け、全員で役割を分担することにした。

新しくできた部の組織は次の通りである。



はじめは、準備係や後始末係に主に1年生がなり、各係の責任者には2年生が選ばれた。

しかし、その後、生徒から「係を固定しないで全員が各係を経験することも大切でないか。」という意見が出され、部会で話し合った結果、1か月ごとに交替することにした。

係交替のたびごとに戸惑っていた1年生も2年生を見習い、次第に手ぎわよくやれるようになり、仲良く協力し、責任を果たす態度もみられるようになった。

このように、部員が自分たちの考えで組織を改善し、しかも係の交替制を取り入れ、全員が各係を経験することによって、自分の役割を責任をもって果たすことの大切さを理解し、協力する雰囲気が出てきた。

### (3) 「練習の心得」の作成

活動目標を達成するためには、集団としての秩序が必要である。

特に、中体連大会以後、進学などの関係で3年生が活動に参加しなくなってから、部活動全体にルーズさが目立つようになった。

以前から、簡単な部のきまりはあったが、それもほとんど守られなくなってきていた。

このような状況に対し、部員の一部から反省が出された。そのことについて早速、全員で話し合い、活動目標との関連において新しい「練習の心得」をつくった。

次は、その「練習の心得」である。

C中学校

女子バレーボール部 練習の心得

めあてをきめて、能率的、効果的な練習をしよう。

何を、なぜ、どのように練習するか。

私のめあて ( )

1. 服装を整え、はやく練習に参加しよう。  
準備運動を怠らないこと→→→けがの防止
2. 用具の準備、後始末をきちんとしよう。  
人に頼らないで、自分で責任を果たすこと
3. 無断で練習を休まない。  
集団における個人の責任と役割の自覚
4. 大きな声で、励まし合い、元気一杯、明るく、楽しく練習しよう。  
短かく、太い声、迫力ある声は、からだを機敏にする
5. 基本を身につけ、個々の技能を高める練習をしよう。  
中学生のバレーボールは、基本プレーが勝利への近道
6. 指導されなくとも、考えて練習をしよう。  
指導されなくても考えて、自分で改善できる人は、優秀な人  
指導されて、それを実行し、改善できる人は、普通の人  
指導されても、実行できない人は、最低の人
7. 練習は、試合と思って、プレーをしよう。  
練習は緊張、試合はのびのびした心で
8. 練習記録をたいせつにしよう。  
実力の発見、問題の発見、反省は、明日のめあて
9. よいチームカラーづくりに、努力しよう。  
よい仲間づくり、バレーボールと人生